

一級河川 肱川  
大和（郷）地区整備事業



大洲河川国道事務所  
ホームページキャラクター  
「うっぴー」

地域の暮らしを  
災害から守る  
快適で安全なまちづくり

国土交通省四国地方整備局  
大洲河川国道事務所

〒795-8512 愛媛県大洲市中村210

TEL 0893(24)5185  
FAX 0893(24)2059

愛媛県南予地方局  
大洲土木事務所

〒795-8504 愛媛県大洲市田口甲425-1

TEL 0893(24)5121  
FAX 0893(24)7525

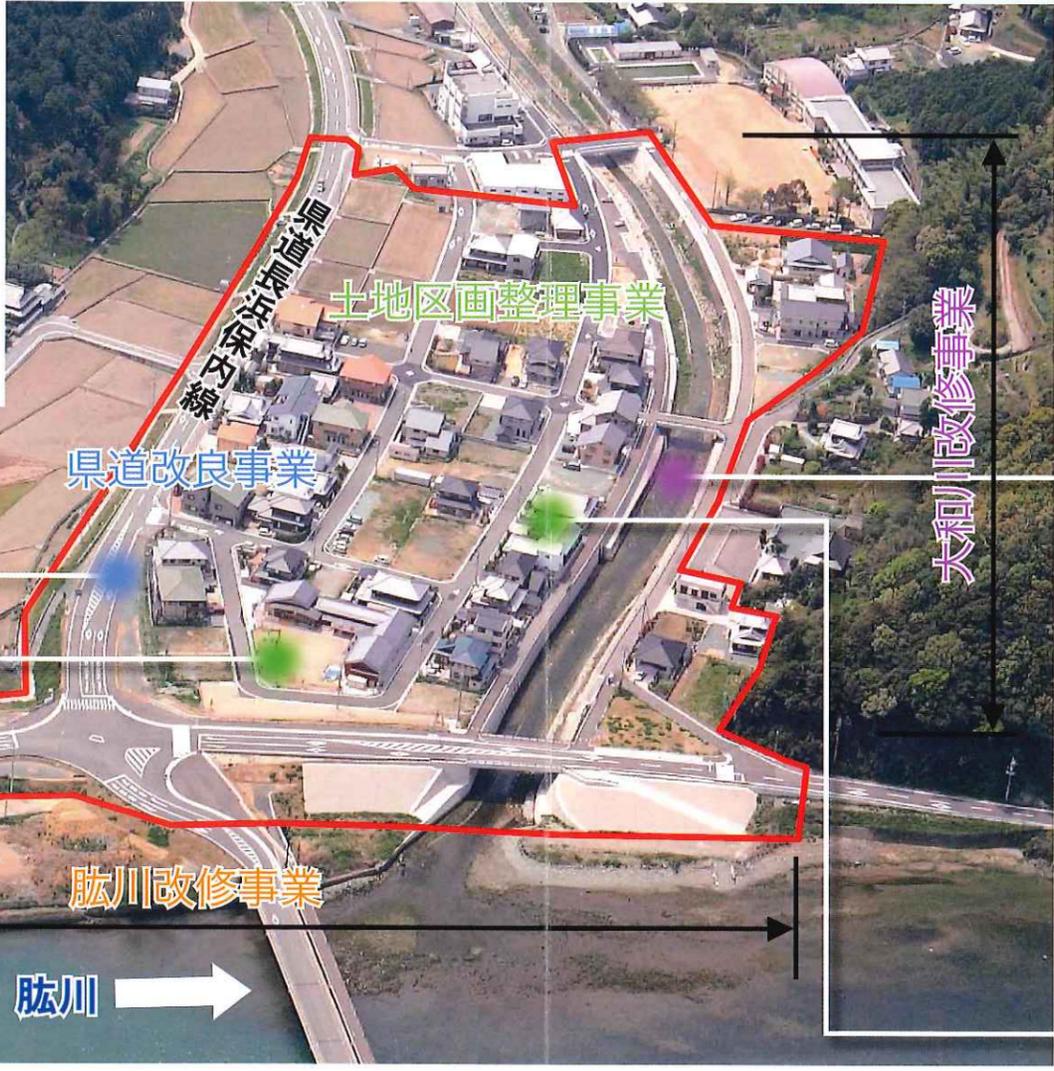
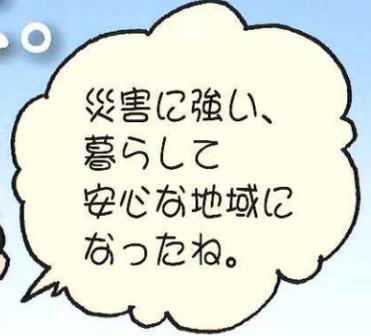
愛媛県  
大洲市

〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690-1

TEL 0893(24)2111  
FAX 0893(24)1736

# り、安全で快適な住環境の整備が行われました。

- 各事業名**
- ・(国) 肱川大和(郷)地区水防災対策特定河川事業
  - ・(県) 大和川河川改修事業
  - ・(県) 長浜中村線改良事業、長浜保内線改良事業
  - ・(市) 大和(郷)土地区画整理事業



## 浸水に備えた嵩上げ

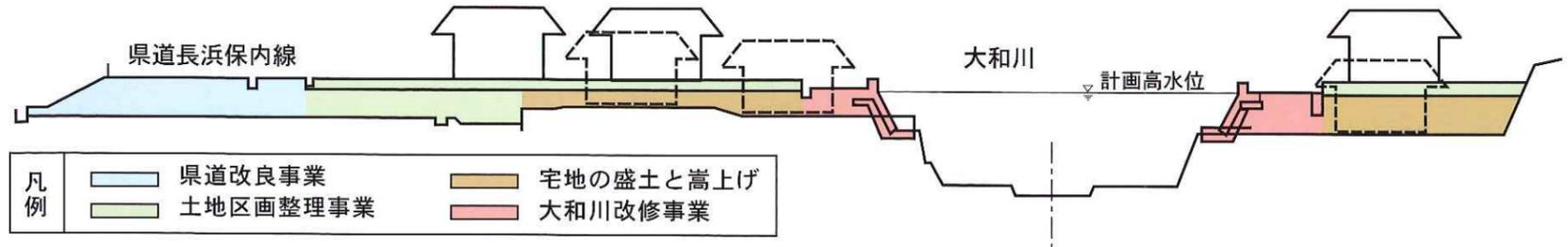


浸水を防ぐために、宅地嵩上げに併せて大和川の護岸を整備しました。

## 新しい町、新しい地域



安全性・利便性・快適性の高い、新しい町並みが出来ました。



しました。

場所に整備され、

と整備しました。

# 地域コミュニティを考慮した 河川整備

# 各事業の連携により、安全で快適な住環境の整備

## 国土交通省事業

### 水防災対策特定河川事業

- 事業期間:平成13年度～平成18年度
- 事業費:約46億円

### 宅地の盛土と嵩上げ

約100年に一度の確率で発生する洪水が起こった場合に備えた宅地の嵩上げを行いました。

- 嵩上げ面積:約2.1ha

### 肱川本川の堤防工事

県道長浜中村線と併せて、堤防工事を行いました。

- 整備延長:L=約420m

### 大和川改修事業

宅地嵩上げに併せて、大和川の護岸などの整備を行いました。

- 整備延長:L=約320m

## 関連事業

### 土地区画整理事業(大洲市)

土地区画整理事業を導入し、より効率的な宅地造成・区画整理を実施しました。

- 事業費:約3.5億円

### 県道改良事業(愛媛県)

- ・長浜中村線/河川改修事業と併せて改良しました。
- ・長浜保内線/愛媛県による新設バイパスとして改良しました。

- 事業費:約5億円

### 大和川改修事業(愛媛県)

大和川改修に併せ、愛生橋を架け替えました。

- 事業費:約1億円

## 車も人も安心道路



安心・安全な道路にするため、車道や歩道を広くしました。

## 地域コミュニケーションの場



地域の要でもある、公共施設も、災害に備えた場所に整備され、子どもたちものびのび育ちます。

## 浸水に備えた嵩上げ

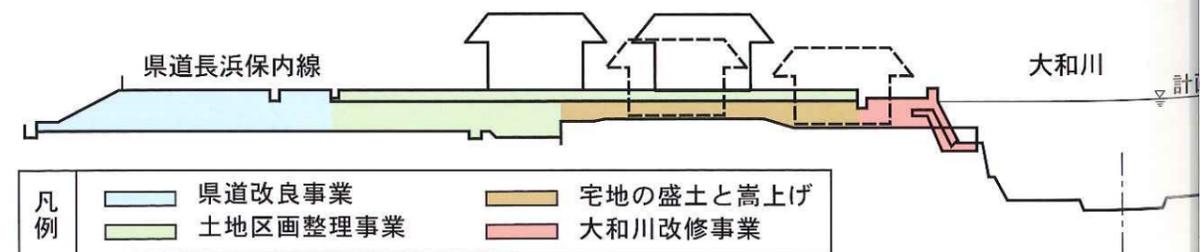


浸水を防ぐために、本川堤防を嵩上げし、護岸を整備しました。



### 各事業名

- ・(国)肱川大和川
- ・(県)大和川河川
- ・(県)長浜中村線
- ・(市)大和(郷)



# 肱川の概要

肱川は、愛媛県の西南部、西予市宇和町正信(標高460m)から流れはじめ、大洲市長浜町で伊予灘に流れ込む流域の広さ1,210km<sup>2</sup>、流れの長さ103kmの県下一の級河川です。

この流域のうち約90%が山地で、西予市、大洲市(大洲盆地)でわずかに平地が開けるのみです。他の河川で見られるように河口に近づくにしたがって、平野が開けるとい地形ではありません。

特に、大洲盆地から河口の間は山が肱川に迫り、川幅が著しく狭くなっています。ひとたび洪水が起きると、異常に水位が上がり、毎年のように浸水被害を受けています。

# 肱川水系 河川整備計画 [中下流域]

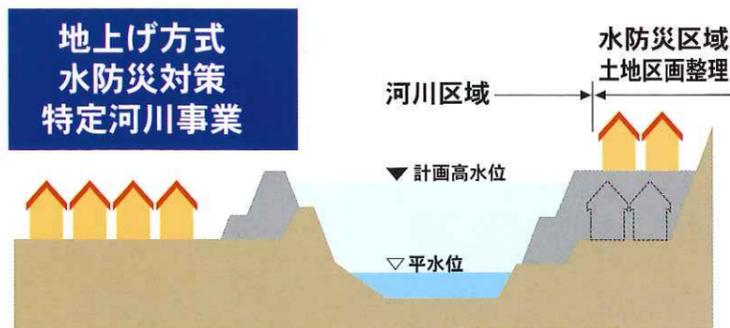
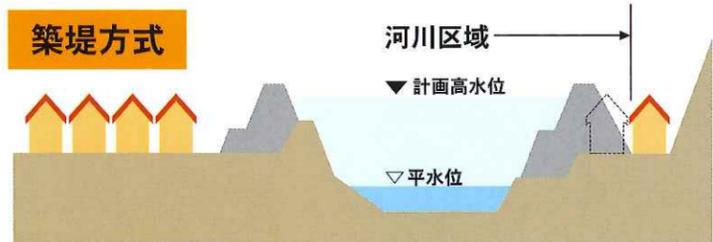
## 河川整備の理念

- **安心安全の確保**  
治水が抑制されている東大洲地区などの治水安全度の早期向上
- **清流の復活**  
かつてのような豊かで自然な流れの回復
- **地域の風土と調和を図った河川整備**

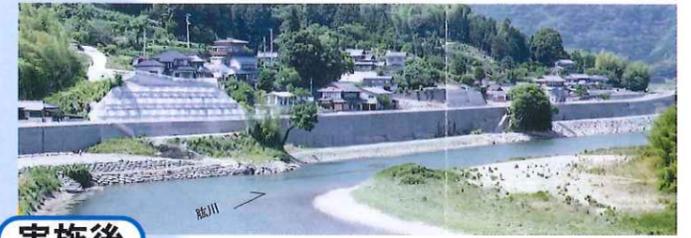
# 水防災対策 特定河川事業

「水防災対策特定河川事業」は、住宅、宅地等を洪水被害から守るため、築堤に代わって、輪中堤や宅地嵩上げ等を行う事業方式で、河川沿川に連続で堤防を建設するよりも経済的で、生活環境等からも好ましい地域に適用されます。

大和(郷)地区は、地盤が低く、浸水の危険がある地域にも拘わらず、肱川及び大和川沿いに人家が密集しており、そこに堤防を造るためには、多くの家屋移転や用地買収が必要な上、結果として、地域社会の存続困難や住環境が悪化するなどの影響が考えられたため、「水防災対策特定河川事業」により、宅地嵩上げによる治水対策が実施されました。



# 肱川流域 嵩上げ事業 位置図



実施前



実施後



実施前



実施後